

予 算 要 求 資 料

令和5年度12月補正予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 高齢福祉施設エネルギーコスト削減推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内3472)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 150,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	150,000	0	0	0	0	0	0	0	150,000
決定額	110,000	110,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

物価高騰による高齢福祉施設の運営費負担を軽減するため、エネルギーコストを削減するための設備の更新等を支援する。

(2) 事業内容

<対象者>

特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、介護老人保健施設
介護医療院、認知症高齢者グループホーム
(地方公共団体及び地方独立行政法人を除く)

<対象設備>

空調・換気設備、照明設備、冷蔵・冷凍設備、恒温設備、熱電供給設備、窓
※省エネ設備であり、省エネ性能に関する基準を満たすもの

<補助額>

1 法人あたり下限30万円、上限200万円 (グループホーム以外)
1 法人あたり下限30万円、上限100万円 (グループホーム)
※補助金額が30万円を下回る場合は補助対象外。

(3) 県負担・補助率の考え方

県補助率 2/3以内

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	150,000	エネルギーコストを削減するための設備の更新に対する補助
合計	150,000	

決定額の考え方

補助率は1/2とし、所要額を計上します。
財源については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第8期岐阜県高齢者安心計画
第4章 施策の展開

第2節 介護保険サービス基盤の充実

- (2) 介護業務の効率化と質の向上
- (3) 介護サービスの充実

(2) 国・他県の状況

長野県においても同様の事業を補正にて実施予定

(3) 後年度の財政負担

特になし

(4) 事業主体及びその妥当性

国において「デフレ完全脱却のための総合経済対策」が閣議決定がされたことを受け、県が主体として実施。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	高齢福祉施設施設エネルギーコスト削減推進補助金
補助事業者（団体）	社会福祉法人等 (理由) 高齢者の入所施設の運営者
補助事業の概要	(目的) 入所施設の運営費負担を軽減 (内容) 設備更新の費用に補助率を乗じた額を支援
補助率・補助単価等	定率（上限あり） (内容) 設備更新の費用に補助率を乗じた額を支援 (理由) 燃料費高騰による影響を軽減する設備導入を、 県と事業者で負担することとするため
補助効果	自己資金不足で施設運営不能となることを回避
終期の設定	終期 令和5年度 (理由) 令和5年度における燃料費等高騰対策であるため

(事業目標)

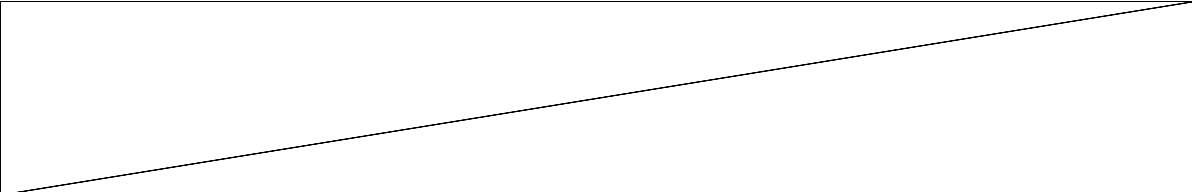
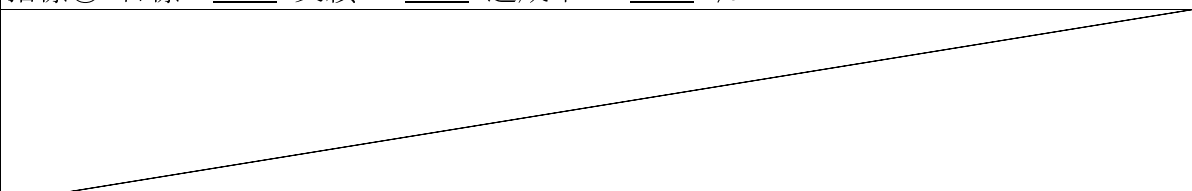
<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 物価高騰に伴い事業経費が増大する中、事業者に対し負担軽減を図ることができる。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R4)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① 施設閉鎖数	0	-	0	0	0	
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
			80,541

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	昨年度は、64施設59法人に補助を行った。 今年度も同程度の補助が必要である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	エネルギーコスト削減により、事業者の負担軽減につながっている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	特に問題はなし。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 高齢福祉施設が適切に支援を受けられるよう、事業の周知を図る。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 燃料高騰等の動向を踏まえ、状況に応じて事業継続の可否を検討する。</p>
--